

## 第3章 決算

### 第1節 決算整理 (p.82)

#### 1 決算とは (p.82)

- ・ 決算とは、決算日に帳簿を \_\_\_\_\_、決算日における財政状態を明らかにする \_\_\_\_\_ や、その会計期間の経営成績を明らかにする \_\_\_\_\_ を作成する一連の手続きのことである。

#### 2 決算整理 (p.82)

- ・ \_\_\_\_\_ に記帳した収益や費用の勘定の中には、 \_\_\_\_\_ に記帳したほうがよいと思われる項目があったり、当期に記帳されていなくても、 \_\_\_\_\_ の収益や費用にしたほうがよいと思われる項目があるなど、必ずしも帳簿上の金額がその実態を正しくあらわしていないものがある。
- ・ そこで、決算にあたり会計期間の損益を正確に計算するため、このような勘定を整理しなければならない。この手続きを \_\_\_\_\_ という。
- ・ 決算整理が必要なことから \_\_\_\_\_、決算整理で行う仕訳を \_\_\_\_\_ という。

#### 3 決算整理事項 (p.83)

- ・ 決算整理を必要とすることから
  - (1) ( \_\_\_\_\_ ) の計算
  - (2) ( \_\_\_\_\_ ) の計上
  - (3) 固定資産の ( \_\_\_\_\_ )
  - (4) 費用の繰延べと ( \_\_\_\_\_ )
  - (5) その他
    - ① ( \_\_\_\_\_ ) 勘定の整理
    - ② ( \_\_\_\_\_ ) 勘定の整理

(1) 売上原価の計算 (p.83)

- 商品売買取引を3分法で記帳すると、  
期末に一括して計算する。
- 期末に一括して計算する、一会計期間における商品販売益を
- 売上総利益の算式 ※ 売上原価は雪だるま

$$\text{売上総利益} = \text{売上高} - \text{売上原価}$$

$$\text{売上原価} = \text{期首商品棚卸高} + \text{売上高} - \text{期末商品棚卸高}$$

- 売上高は 勘定で知ることができるが、売上原価はどの勘定からも知ることができないので、次の仕訳を行い、売上原価を 勘定で計算する。

① 期首商品棚卸高 ( 勘定の残高 ) を 勘定へ振り替える。

② 期末商品棚卸高を 勘定 から 勘定へ振り替える。

**仕 訳**

【決算整理仕訳】

- 売上原価の計算

|     |    |     |    |   |     |
|-----|----|-----|----|---|-----|
| (借) | ×× | (貸) | ×× | ← | 棚卸高 |
| (借) | ×× | (貸) | ×× | ← | 棚卸高 |

**例題 1**

(1) [決算整理仕訳]

① (借) (貸)

② (借) (貸)

[転記]

| 繰越商品 |     | 仕 入   |  |
|------|-----|-------|--|
| 前期繰越 | 200 | 1,000 |  |
|      |     |       |  |
|      |     |       |  |

(2) [売上原価] ￥

**例題 2**

ア. ￥ イ. ￥ ウ. ￥ エ. ￥

(2) 貸倒引当金の計上 (p.86)

- ・                    や                    などの売上債権が回収できなくなることを  
-----  
という。  
-----
- ・ 企業では、貸倒れに備え、決算のときに                    を当期の                    として  
-----  
計上する。  
-----

① 決算のときの処理

- ・ 貸倒見積額を                    勘定 (                    の勘定) の借方と  
-----  
勘定 (                    勘定) の貸方に記入する。これを貸倒引当金の計上という。  
-----

| 仕 訳           |    |     |    |
|---------------|----|-----|----|
| ・ 貸倒引当金を計上した。 |    |     |    |
| (借)           | ×× | (貸) | ×× |

【貸倒見積額の計算】

(                    の期末残高 +                    の期末残高) × 貸倒実績率 (%)

例題 3

(借)                    (貸)

-----

② 貸倒れが発生したときの処理

- ・ 貸倒額を                    勘定の                    と、受取手形勘定や売掛金勘定の  
-----  
に記入する。  
-----
- ・ 貸倒額が貸倒引当金の残高より大きい場合、不足額は                    勘定 (                     
-----  
の勘定) で処理する。  
-----

| 仕 訳               |    |     |            |
|-------------------|----|-----|------------|
| ・ 前期の売掛金が貸倒れになった。 |    |     |            |
| 【貸倒額<貸倒引当金残高】     |    |     |            |
| (借)               | ×× | (貸) | ××         |
| 【貸倒額>貸倒引当金残高】     |    |     |            |
| (借)               | ×× | (貸) |            |
|                   | ×× |     | ← 貸倒引当金不足額 |

例題 4

(1) (借) (貸)

(2) (借) (貸)

③ 決算のときの処理（貸倒引当金に残高がある）

- ・ 決算日に貸倒引当金に残高があるときは、 と  
の残高との差額を貸倒引当金として計上する。この計算方法を  
という。

仕 訳

- ・ 貸倒引当金を¥100 計上した（ただし貸倒引当金残高 ¥70）。

(借)

(貸)

例題 5

(借)

(貸)

④ 当期に発生した売上債権が貸倒れになったときの処理

- ・ 当期に発生した売掛金が貸倒れになったときは、 勘定で処理する。

仕 訳

- ・ 当期の売掛金が貸倒れになった。

(借)

××

(貸)

××

※貸倒引当金を取り崩すことができるのは、**前期**の受取手形や売掛金が  
貸倒れになったときである。

(3) 固定資産の減価償却 (p.89)

- ・ 固定資産は時の経過または使用によって 減価償却 が減少する。
- 
- ・ 決算にあたり、当期に発生した価値の減少額を見積もり、それを
- 
- 勘定（ 減価償却 の勘定）の 減価償却費 に記入するとともに 取得原価 の取得原価
- 
- を減少させる。この手続きを 減価償却 という。

【減価償却費（定額法）】

減価償却費 = \_\_\_\_\_

**仕 訳**

- ・減価償却を行った（建物）。

(借)                      ××        (貸)                      ××

---

### 例題 6

- (1) (借) (貸)

---

(2) (借) (貸)

## ■ 固定資産台帳

- ・企業は、所有する固定資産を管理するために、という補助簿を設
- 
- け、取得から売却（あるいは除却・廃棄）までのすべての情報を記録する。

**【NOTE】**

### 例題 7

## 固定資産台帳

03 年 3 月 31 日現在

| 取得<br>年月日 | 種 類     | 耐用<br>年数 | 取得原価 | 期 首<br>帳簿価額 | 当 期<br>減価償却費 | 期 末<br>帳簿価額 |
|-----------|---------|----------|------|-------------|--------------|-------------|
| 備 品       |         |          |      |             |              |             |
| 01.4/3    | 事務用パソコン | 4 年      |      |             |              |             |
| 02.11/1   | 会議用テーブル | 8 年      |      |             |              |             |
|           |         |          |      |             |              |             |

- ・備品の種類ごとの、購入時、決算時の仕訳

## 〈事務用パソコン〉

01.4/ 3 (借) (貸)

02.3/31 (借) (貸)

03.3/31 (借) (貸)

### 〈会議用テーブル〉

02.11/1 (借) (貸)

03.3/31 (借) (貸)

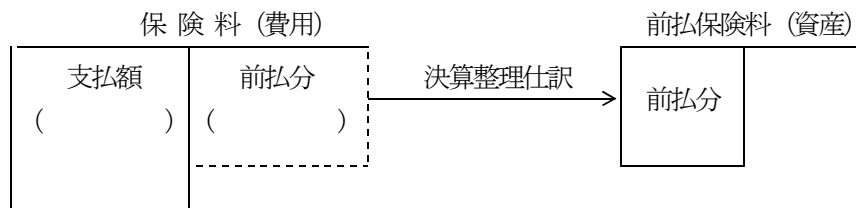
**【NOTE】**

#### (4) 費用の繰延べと見越し (p.91)

##### ① 費用の繰延べ

- 例えば、保険料勘定に次期の分まで含まれているとしたら、正しい損益計算はできない。
- そこで、決算にあたり、費用の勘定に 前払分 の分が含まれているときは、これを 前払保険料勘定 から 前払分 勘定 ( 前払保険料 ) の勘定) に振り替え、次期に繰り越す。

【費用の繰延べ】 —ここでは保険料を例にする—



##### 仕 訳

【費用の前払額を計上した】

- (決算時) 保険料の前払額が ¥×× がある。

|     |    |     |    |
|-----|----|-----|----|
| (借) | ×× | (貸) | ×× |
|-----|----|-----|----|

##### 例題 8

|        |     |     |
|--------|-----|-----|
| 01.8/1 | (借) | (貸) |
|--------|-----|-----|

|         |     |     |
|---------|-----|-----|
| 02.3/31 | (借) | (貸) |
|---------|-----|-----|

##### ② 費用の見越し

- 例えば、給料の支払日が毎月 25 日の会社の場合、3 月 26 日から 3 月 31 日 (決算日) までの分が給料勘定に含まれないとしたら、当期の正しい損益計算はできない。
- そこで、決算にあたり、未払分を費用に計上するために、 未払給料 勘定の借方に記入するとともに、 未払給料 勘定 ( 未払給料 ) の勘定) の貸方に記入する。

【費用の見越し】 —ここでは給料を例にする—



**仕 訳**

【費用の未払額を計上した】

- ・(決算時) 給料の未払額が¥××ある。

(借)                      ××          (貸)                      ××

### 例題 9

02.3/31 (借) (貸)

(5) その他 (p.94)

### ① 現金過不足勘定の整理

- ・ 現金過不足の原因が期末になっても判明しないときは、現金過不足勘定の残高を

勘定(費用) または 勘定(収益) に振り替える。

- ・決算日に現金の過不足が判明し、その原因が不明のときは、勘定

は使わないで、                  勘定（費用）または                  勘定（収益）で処理する。

**仕 訳**

【決算日における現金過不足勘定の整理】

- ・借方残高（現金不足）のとき。

(借)                      ××        (貸)                      ××

- ・貸方残高（現金過剰）のとき

(借)                      ××        (貸)                      ××

【決算日に現金過不足が判明したがその原因は不明】

- ・現金不足のとき。

(借)                      ××        (貸)                      ××

- ・現金過剰のとき。

(借)                      ××        (貸)                      ××



例題 1 0

(1) (借) (貸)

(2) (借) (貸)

(3) (借) (貸)

② 消耗品費勘定の整理

- ・ 消耗品を買い入れたときは 勘定（ の勘定）で処理する。
- ・ 決算日に、消耗品に未使用分があるときは、その金額を 勘定から、  
勘定（ の勘定）へ振り替える。

仕 訳

【決算整理仕訳】 消耗品の未使用高が ¥×× がある。

(借) ×× (貸) ××

例題 1 1

01.9/9 (借) (貸)

02.3/31 (借) (貸)

4 棚卸表 (p.97)

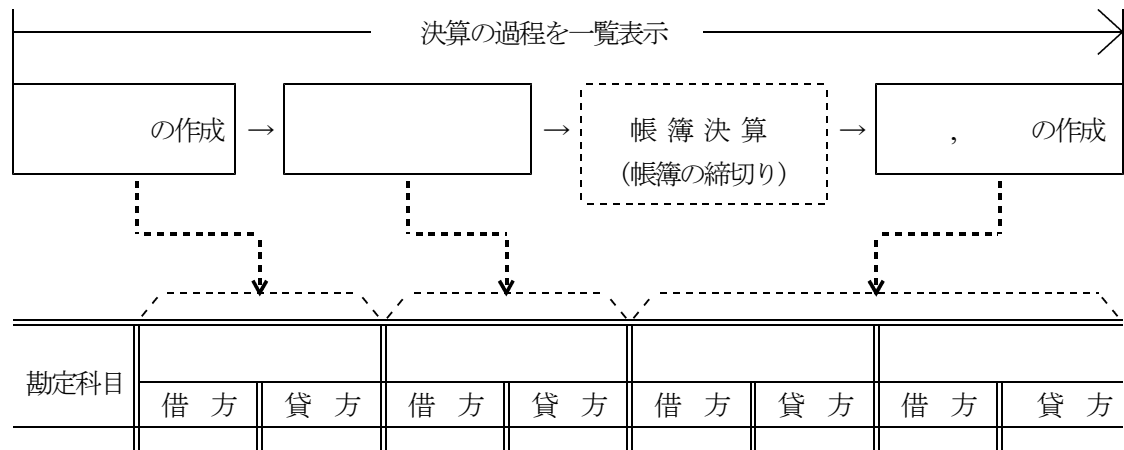
- ・ 決算整理事項をまとめて記載した表のことを という。

【NOTE】

第2節 精 算 表 (p.97)

1 精算表の意味

・ 精算表は \_\_\_\_\_ を1つの表にまとめたものである。



例題 1

〔決算整理仕訳〕

1. (借) \_\_\_\_\_ (貸)
2. (借) \_\_\_\_\_ (貸)
3. (借) \_\_\_\_\_ (貸)
4. (借) \_\_\_\_\_ (貸)
5. (借) \_\_\_\_\_ (貸)
6. (借) \_\_\_\_\_ (貸)
7. (借) \_\_\_\_\_ (貸)

# 精 算 表

年 月 日

| 勘 定 科 目   | 残高試算表 |     | 整 理 記 入 |     | 損益計算書 |     | 貸借対照表 |     |
|-----------|-------|-----|---------|-----|-------|-----|-------|-----|
|           | 借 方   | 貸 方 | 借 方     | 貸 方 | 借 方   | 貸 方 | 借 方   | 貸 方 |
| 現 金       |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 現 金 過 不 足 |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 当 座 預 金   |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 売 掛 金     |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 貸 倒 引 当 金 |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 繰 越 商 品   |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 備 品       |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 買 掛 金     |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 資 本 金     |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 繰越利益剰余金   |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 売 上       |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 仕 入       |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 給 料       |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 支 払 家 賃   |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 消 耗 品 費   |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 水 道 光 熱 費 |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 租 税 公 課   |       |     |         |     |       |     |       |     |
|           |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 貸倒引当金繰入   |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 減 価 償 却 費 |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 雑 ( )     |       |     |         |     |       |     |       |     |
| ( )       |       |     |         |     |       |     |       |     |
| ( ) 給料    |       |     |         |     |       |     |       |     |
| ( ) 家賃    |       |     |         |     |       |     |       |     |
| 当期純 ( )   |       |     |         |     |       |     |       |     |
|           |       |     |         |     |       |     |       |     |

### 第3節 帳簿の締切り (p.101)

#### 1 損益勘定と振替 (p.101)

##### (1) 損益勘定

- ・ と を1つの勘定に集めるために設けられた勘定である。  
-----  
※したがって収益の勘定でもないし、費用の勘定でもない。このような勘定を混合勘定という。  
-----
- ・ ( ) のときにだけ使用する勘定である。  
-----

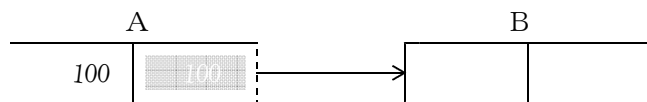
##### (2) 振替

- ・ ある勘定の金額を へ ことである。  
-----
- ・ 「振替は、同じ勘定の と、振り替える勘定の に記入する」  
と覚える。  
-----

(例) A勘定の借方の¥100をB勘定へ振り替える

↓ Aの¥100はどこどこに記入されるか？

同じ勘定(A)の反対側( 方 )と、振り替える勘定(B)の同じ側( 方 )  
に記入する。

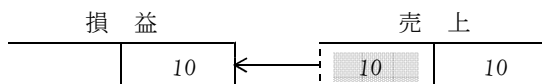


- ・ 振替は を通して行う。  
-----

#### 例題1

〔振替仕訳〕 (借) (貸)

※解法のポイント ① 振替で金額がどこどこに記入されるかイメージする



↓

売上勘定の借方と損益勘定の貸方に記入されるとイメージ

② それがどのような仕訳になるか考える

↓

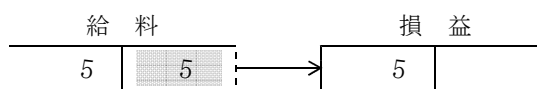
売上勘定の借方 → (借) 売上 10

損益勘定の貸方 → (貸) 損益 10

### 例題 2

〔振替仕訳〕 (借) (貸)

※解法のポイント ① 振替で金額がどこどこに記入されるかイメージする



給料勘定の貸方と損益勘定の借方に記入されるとイメージ

② それがどのような仕訳になるか考える

↓

給料勘定の貸方 → (貸) 給料 5

損益勘定の借方 → (借) 損 益 5

2 帳簿の締切り（帳簿決算）（p.104）

・帳簿の締切りは、総勘定元帳の                      および                      を締め切るための手続  
-----  
きである。

## 帳簿の締切り手順

1.                の勘定残高を                勘定に振り替える。
2.                の勘定残高を                勘定に振り替える。
3.                の残高（当期                ）を                勘定へ  
振り替える。
4. すべての勘定を締め切る。

(1) 収益の勘定残高を損益勘定に振り替える

### 例題 3

〔振替仕訳〕 3/31 (借) (貸)

〔転 記〕

| 損 益 |  |
|-----|--|
|     |  |
|     |  |
|     |  |

※損益勘定への転記に注意！

| 売 上  |  |
|------|--|
|      |  |
|      |  |
|      |  |
| 受取利息 |  |
|      |  |
|      |  |

(2) 費用の勘定残高を損益勘定に振り替える

例題 4

〔振替仕訳〕 3/31 (借)

(貸)

〔転 記〕

| 仕 入 |  |
|-----|--|
|     |  |
|     |  |
|     |  |
| 給 料 |  |
|     |  |
|     |  |

| 損 益 |  |
|-----|--|
|     |  |
|     |  |
|     |  |

※損益勘定への転記に注意！

(3) 損益勘定の残高（当期純損益）を繰越利益剰余金勘定に振り替える

例題 5

〔振替仕訳〕 (借)

(貸)

〔転 記〕

| 繰越利益剰余金 |  |
|---------|--|
|         |  |
|         |  |
|         |  |
| 損 益     |  |
|         |  |
|         |  |
|         |  |
|         |  |

《総合例題》 (p.107)

※帳簿の締切り手順(p.104)にそって解くことが大切である。

〔決算振替仕訳〕

(借)

(貸)

〃 (借)

(貸)

〃 (借)

(貸)

〔勘定への転記〕

売

上

受 取 手 数 料

仕

入

給

料

貸倒引当金繰入

減 価 償 却 費

| 繰越利益剰余金 |       |
|---------|-------|
|         | 3,300 |
|         |       |
|         |       |
|         |       |
|         |       |
|         |       |
|         |       |
|         |       |
|         |       |
|         |       |

| 損 | 益 |
|---|---|
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |

(4) すべての勘定を締め切る

① 収益・費用の各勘定および損益勘定の締め切り

例題6

| 仕 |  | 入    |     |
|---|--|------|-----|
|   |  | 3/31 | 損 益 |
|   |  |      |     |
|   |  |      |     |
|   |  |      |     |
|   |  |      |     |
|   |  |      |     |
|   |  |      |     |
|   |  |      |     |
|   |  |      |     |
|   |  |      |     |

| 損         | 益        |
|-----------|----------|
| 3 /31 仕 入 | 3/31 売 上 |
| 〃 給 料     | 〃 受取利息   |
| 〃 繰越利益剰余金 |          |
|           |          |
|           |          |
|           |          |
|           |          |
|           |          |
|           |          |
|           |          |
|           |          |
|           |          |

※収益・費用の各勘定および損益勘定はそのまま締め切る。



## ② 資産・負債・純資産の各勘定の締切り

### 例題 7

| 現 | 金 |
|---|---|
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |
|   |   |

| 繰越利益剰余金 |          |
|---------|----------|
|         |          |
|         | 3/31 損 益 |
|         |          |
|         |          |
|         |          |
|         |          |

※資産・負債・純資産の各勘定の締切りは、「次期繰越」・「前期繰越」と繰越記入を行う。

**【NOTE】**

3 損益計算書と貸借対照表の作成 (p.110)

- などをもとに作成する。

## 損益計算書

- ・ 売上勘定 → と表示する。

### 貸借対照表

- ・ 未払家賃・未払給料 → と表示する。

### 例題 8

## 損益計算書

[illegible]

### 貸借対照表

(株)

年 月 日まで

(単位：円)

[illegible]

**【NOTE】**